



女性に対する暴力をなくす 運動について。

平井 久美子

問 平成29年度のDV相談の件数と内容及び対応並びに支援策は。

答 相談件数は28件、延べ58件。内容は被害者の住民票の閲覧制限に関するもの、避難希望、避難後の生活不安、離婚、子どもとの親権等。住民基本台帳の支援措置申請に対する意見書作成、避難支援、女性相談、法テラス、警察など相談先の紹介など継続支援している。

問 女性に対する暴力をなくすために実施したことは。

答 市民まつりや成人式学校でのパンフレットによる啓発、パープルリボンタペストリーの展示、中学3年生を対象にしたデートDV講座などを実施した。

問 パープル・ライトアップを実施する考えは。

答 DVの未然防止を更に進めるために、今後実

施方法などを検討したい。



パープルライトアップ女性に対する暴力根絶のシンボル

コミュニティ・スツール構想について

問 教職員、保護者、地域の理解は進んでいるか。

答 市内12校を教育長が訪問し、直接全教職員に説明を行い理解が進んだ。

PTA連絡協議会の会長会議、各校の役員を対象とした常置委員会研修会で教育長から説明、今後保護者会などを利用して説明していく予定。地

域への説明は、区長の皆様に説明後各地域で行っていく。

図書館事業について

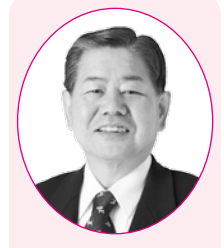
問 ヤングアダルトコーナー設置の考えは。

答 中学生、高校生、大学生に図書館を利用していただくために、ビブリオバトルを開催し、職場体験などを積極的に受け入れている。コーナー設置に向け文庫本や新書などの資料を収集して準備を進めている。来年2月の蔵書点検時に設置したい。

不祥事について

問 今回の不祥事の原因は。

答 これまでの対応が十分でなかったものであり、時間の経過とともに形骸化していた。職員の倫理法令順守、危機管理などの意識の低下や管理体制の脆弱さが原因と認識している。



相原区の街区公園の整備について

吉本 新司

問 整備内容及び工期は。

答 工事については、公園敷地内の整地、外周のフェンス、水道、遊具、ベンチ、車止めの設置を予定。工事の発注時期及び供用開始の時期は、発注の手続を進め、公園の供用開始の時期については、年度内を予定。



開発が進む相原区の街区公園

老朽化が進むインフラ整備について

問 日高団地内の道路、側溝の整備計画は。

答 経年劣化により、団地内の側溝の損傷が著しい箇所があり、対応策として、緊急性の伴う箇所は、速やかに側溝等の改良を実施している。現状の道路の機能を確保するため、道路用地内で、既存のインフラ施設等の適切な維持管理を進めていく予定。

高齢者等の移動手段の確保について

問 移動手段の確保対策は。

答 高齢者等おでかけ支援事業を実施。バス乗車券の購入費として7千300円を上限に補助金を交付。バス路線のない地域の方を支援するために730円のタクシー利用補助券10枚の交付も行っている。路線バス又はタクシーを選択する必要はあるが、自分のニーズに合わせて申請することができる利点があり、利用者からは好

評である。他の移動手段として、自治会等が地域内での乗合交通サービスを行う、デマンド交通に使用する車両の購入費用補助を行っている。

問 高齢者等お出かけ支援事業の実施状況は。

答 75歳以上の方で、自動車等による自力での移動が困難な方を対象に昨年7月から試行開始、今年度から75歳未満の運転免許証自主返納者を対象者に加えて本格的に開始。10月末の申請者数は、路線バス利用申請者が231人、タクシー利用申請者が871人、合計で1千102人となっている。

問 利用者からの反応は。

答 利用者に対してアンケート調査を行い、事業内容については賛成の意見が多数で、窓口や電話等による利用者の話や昨年度利用された多くの方が今年度も申請している。

側溝の整備計画は。